



# 東中だより

目指す学校像  
キャッチフレーズ

生徒一人一人を大切にし 信頼される学校  
蕨東の あいさつ一つで笑東へ

生徒数(名)  
男子 162  
女子 180  
計 342

## 災害への備え

### ～夏季休業期間を振り返って～

例年になく猛暑日が続いた今年の夏季休業期間中を振り返ると、部活動の動きとしては、県大会での奮闘があったり、2年生中心の新体制で練習を積み、プレ大会に参加したり。文化部も、普段はできない活動に取り組んだり、吹奏楽の県大会に進出するなど、それぞれの活躍が見られた。生徒のみなさんの健闘には、心から拍手を送りたい。

### ～激しい気象現象の頻発～

同時に、今年の夏は、ゲリラ豪雨に代表される激しい気象現象が頻発した。これまでに類を見ないほどの降雨、落雷や突風が起こり、市内数校では停電や施設損壊などを被ったようだ。本校でも、三者面談実施期間中に天候が急変し、生徒・保護者の安全確保の観点から延期やオンラインによる面談に切り替えるなどの対応を余儀なくされた。ほんの1時間前までは夏空が広がっていたのに、みるみるうちに空が曇り、強風が吹き荒れ、雷鳴が轟き、豪雨が襲った。その日以外にも、県南部地区に「記録的短時間大雨情報」が発表されるなどの豪雨と洪水が発生した。夏の午後にみられる「夕立」と、これらの現象は全く異なる様相を呈している。

### ～巨大地震注意発表～

加えて、8月8日には日向灘を震源とする地震が発生し、気象庁は「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を発表した。件の地震で

校長 阿部 仁

は、本市付近は震度5強の揺れに見舞われると想定されていて、その際には、学校は、避難所としての機能を果たすことになる。

### ～塚越地区避難所運営協議会～

正に時宜を得たように、8月22日(木)、本校を会場として塚越地区の避難所運営協議会が開催された。塚越地区の学校が避難所となった際に、行政・学校・地域住民が一体となって避難所運営に携わることになるが、その関係者が一堂に会して「図上訓練」を行った。蕨市防災士会の方々の指導のもとに、災害が発生してから避難所開設に至るまで、想定された刻々と変化する状況に、どのような対応をするのか、それぞれの立場から意見交換を行った。あくまでも想定状況に対する対応手段等を協議するのだが、その対応手段の「穴」や「錯誤」などに参加者相互が気づき、検討を要する事項が浮き彫りになったことから、非常に意義があった。

### ～災害対応の再確認～

9月1日は「防災の日」。激甚化する災害への備えは、月並みではあるが常日頃から準備し、何度も訓練することではしか対応力は高まらないと思う。私自身、東日本大震災で福島県双葉町住民が避難していた旧騎西高校で、職員として対応した経験があるが、避難所運営の難しさをひどく痛感した。その経験を奇貨として、災害への備えをしてきたいと強く思う。なぜなら、「災害は時と場所を選ばない。」からだ。 -了-